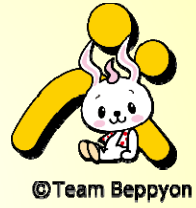


新しい公共空間のあり方を 市民と協働で考える



別府市公共施設再編計画について

別府市では、公共施設の老朽化等に対処するため、公共施設の統廃合や集約・複合化等の方針を定めた「別府市公共施設再編計画」を策定しました。

この計画に基づき、別府の未来を共創するために、新しいまちづくりの視点で公共施設の適正配置を進めます。

適正配置計画

用途別に存続または統廃合や集約、複合化等の方針を提示しています。

施設保全計画

存続する施設の計画的な保全を行う基本方針を提示しています。



なぜ公共施設を再編しなければならないの？



- ・ 築30年以上の建物数が7割、40年以上が4割と老朽化している。
- ・ 耐震化未対応の建物、標準耐用年数を超過する建物がある。
- ・ 各部屋の利用率が30%以下など、稼働率の低い施設が多い。
- ・ 集会室や会議室など、機能面での重複や配置の偏りがある。
- ・ 全体の8割の施設が赤字で、税金の負担割合が高くなっている。
- ・ 本来の目的に応じた使い方が少なくなっている施設がある。

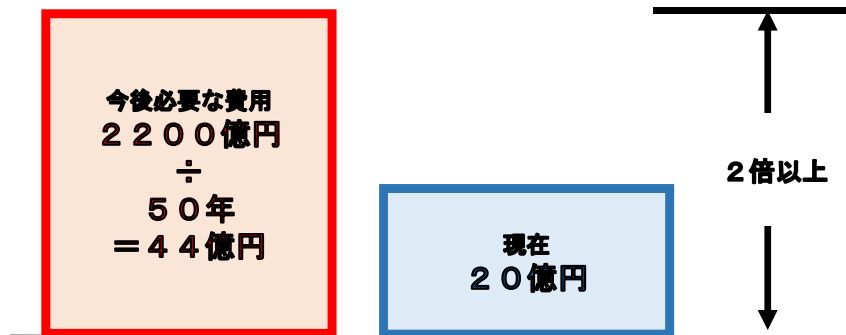


公共施設にかかる費用はどれくらい？

○ 施設の生涯費用（イメージ）

建築	5億円
改修	5億円
運営費 (60年)	10億円

○ 今後の施設の改修等に必要経費（試算）



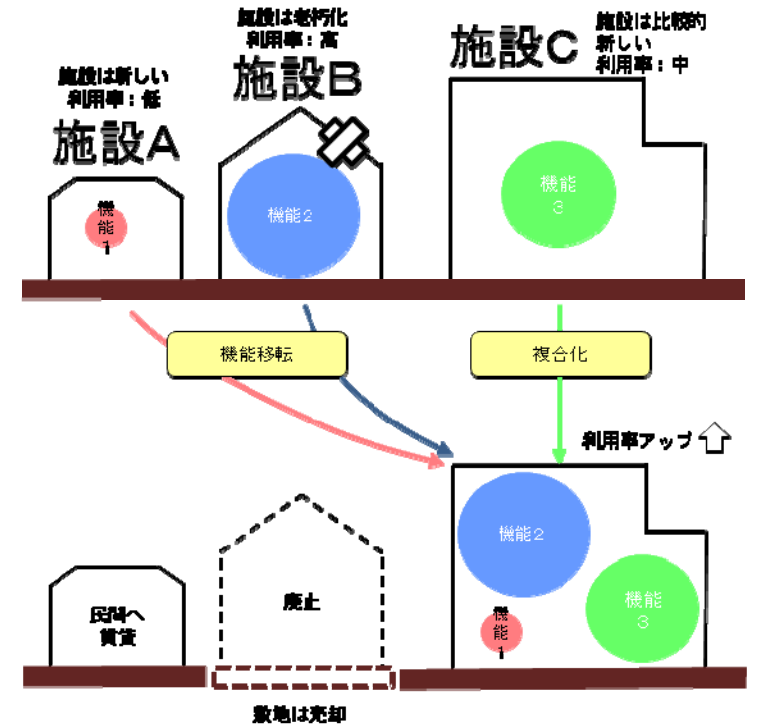
現在の保有施設を全て維持更新していくと、現在の予算の2倍以上のお金が必要です。

公共施設をどのように再編していくの？

【目標】 「公共施設に係る費用を今後30年間で30%以上圧縮する」

機能に基づく適正配置

施設の総量は削減しつつ、公共サービスや公共施設のあり方を見直し、必要な行政サービス機能の維持を図ります。また、同じ利用形態の施設の重なりがないようにします。



施設保有総量の圧縮

「利用が低い」「老朽化が著しい」施設等は原則廃止とし、統廃合により総量を圧縮します。今後、施設の更新時等に機能の集約と複合化を進め、施設稼働率の向上を図ります。

建替え時等の制限

複合化等により施設を新築する際は、**現施設の保有量を超えない範囲で整備**を行います。新たな需要には**既存施設を有効活用**します。

民間事業者等の活用

施設の整備には、**民間資金やノウハウの活用**を図ります。また、**既存の地域資源や民間施設等の積極的な活用**を検討します。



利便性の向上と受益者負担の見直し

より幅広い市民が利用できる施設への転換を図り、市民ニーズに応じた利便性の向上を図ります。管理コストの縮減に努め、**利用料金や減免制度の見直し**を行います。

収益事業化等の検討

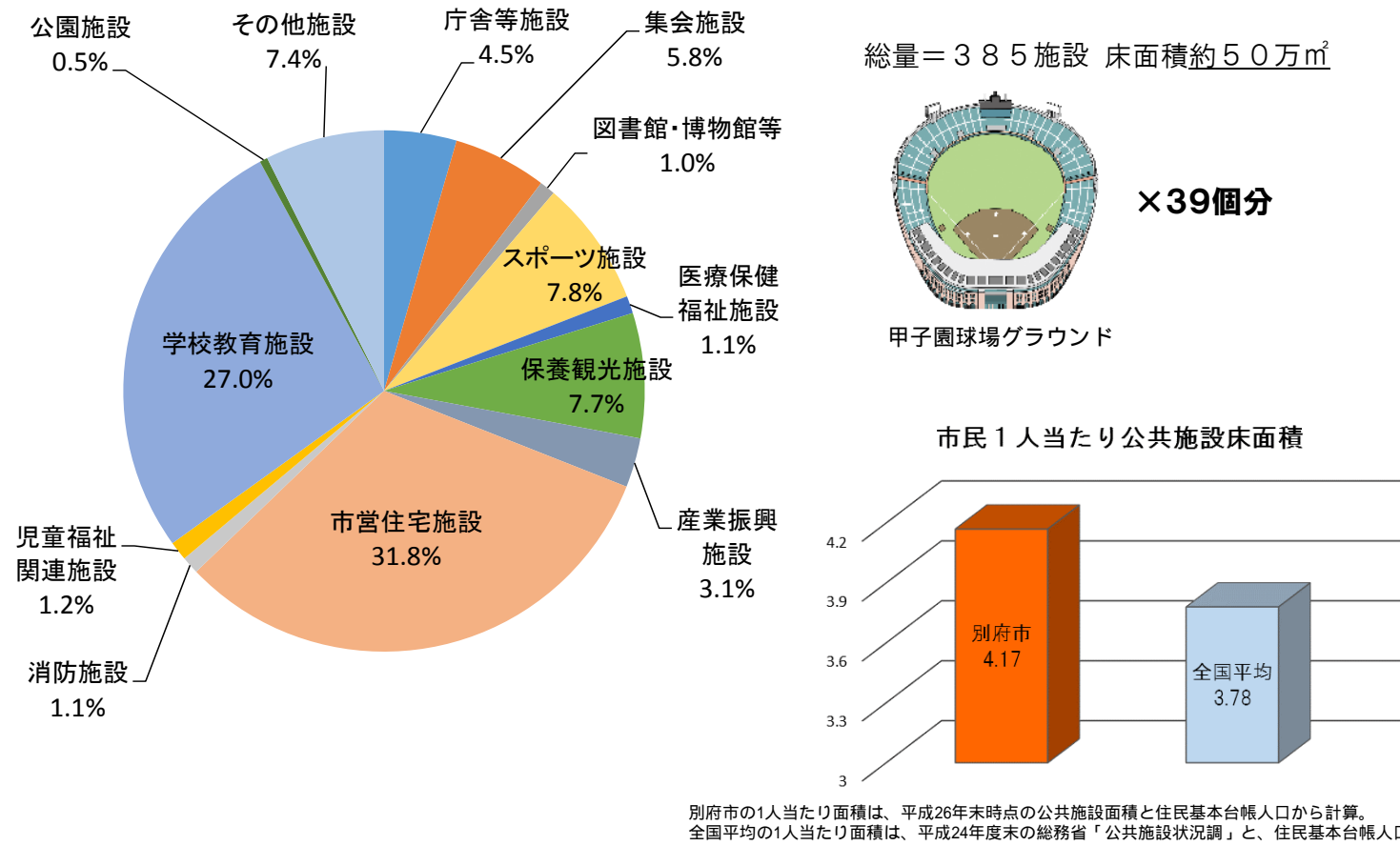
利用料金を徴収する施設については、**利用促進による収益事業化**を検討し、**民営化又は民間譲渡などの手法を積極的に活用**します。

公共施設を減らすことが目的なの？

再編計画は、施設を減らすことだけが目的ではなく、施設と機能を分けて考え、市民が必要とする行政サービス機能を維持し、一人ひとりの満足度を高めるための実行計画です。公共施設の再編を、新しいまちづくりの機会と捉え、これからの時代に合った新しい公共空間のあり方を市民と協働で考えていきます。また、再編をすすめるにあたっては、市民の皆様への説明を丁寧に行っていきます。

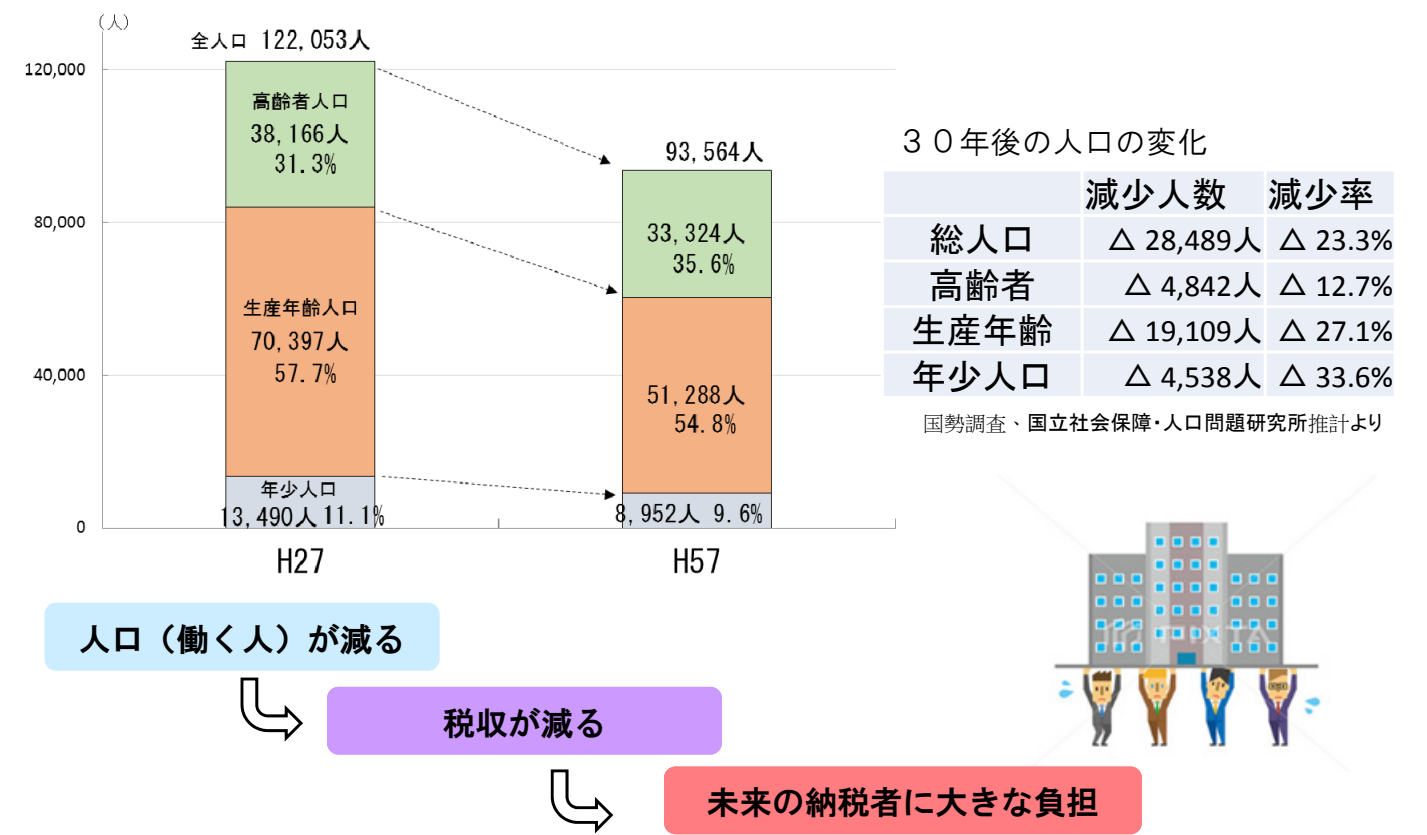
別府市の公共施設の現状はどうなっているの？

○ 市営住宅施設と学校教育施設で全体の6割近くを占めます。

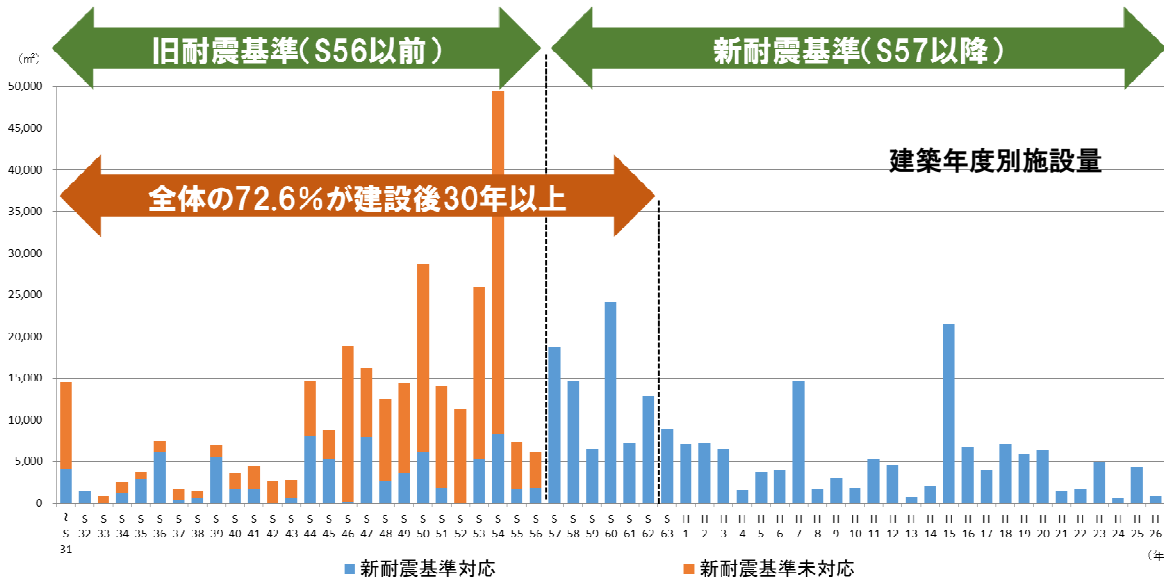


これからの別府市の人口や財政はどうなっていくの？

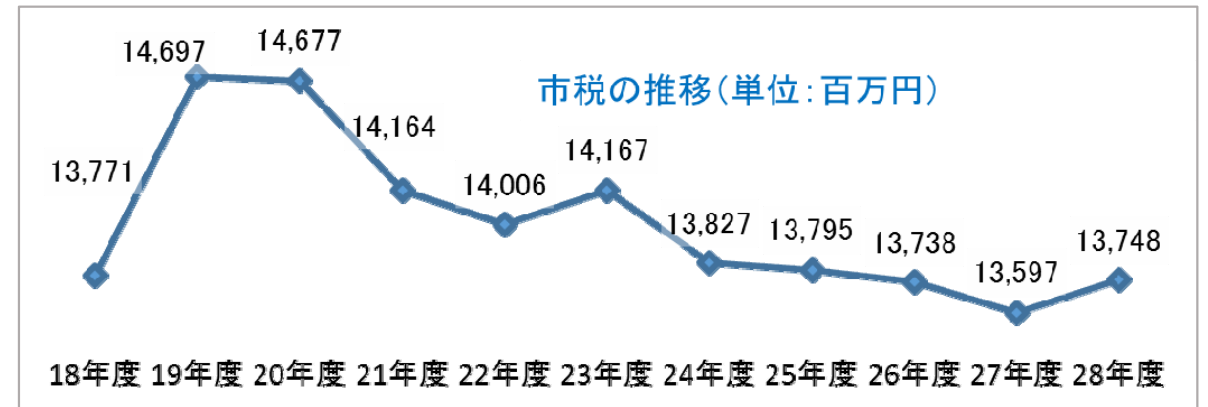
○ 子どもの人口が高齢者の2倍以上のスピードで減っていきます。



○ 昭和56年以前の旧耐震基準で建設された施設が6割近くを占めます。

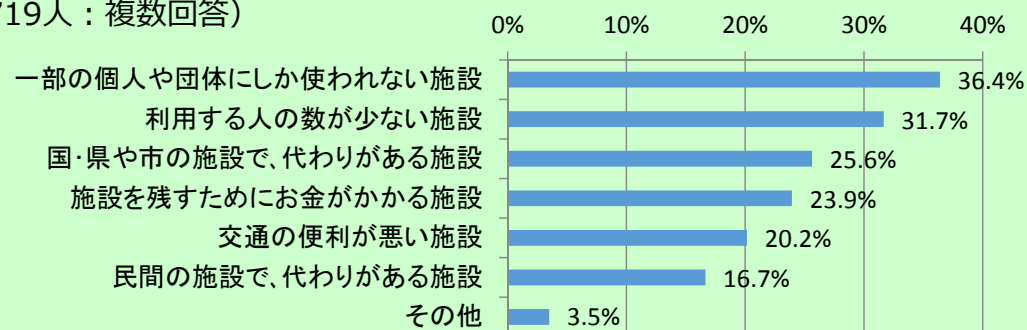


○ 社会保障費等が増えて収支が不足するため基金が減っていく見通しです。

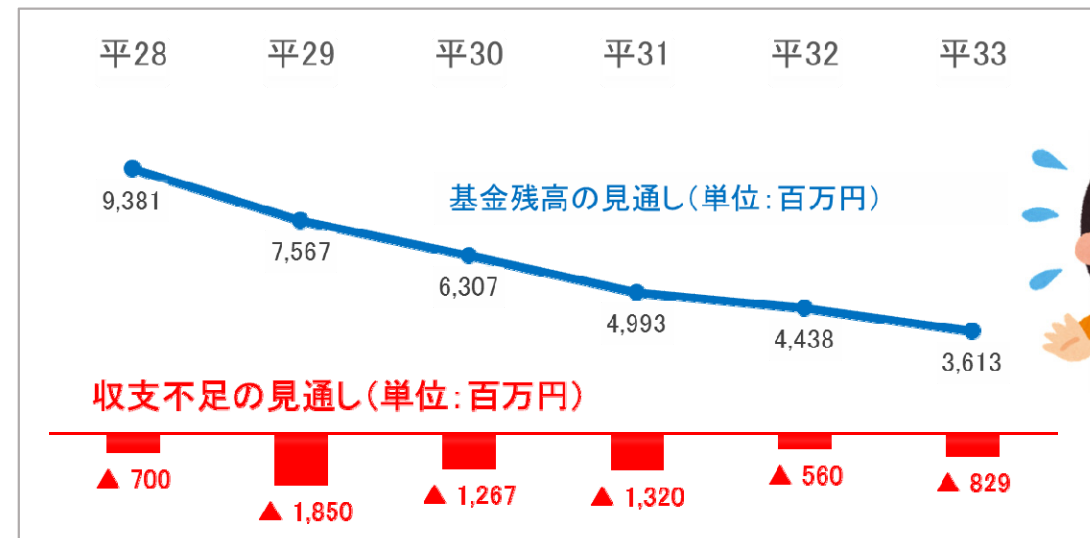


施設を利用している人に聞きました

Q. 今後、別府市の公共施設を見直すとすれば、どんな施設から見直すべきだと思いますか？
(回答者数2719人：複数回答)



「別府市公共施設利用者アンケート結果報告書」より抜粋



主な施設の今後の方針（要約）

【全地域共通施設】

施設用途	施設再編の方針
出張所	本庁舎や他の市民利用施設への業務集約など新しい公共サービスの提供方法を検討。行政の窓口事業と市民活動支援事業等を包括する施設機能の統合・集約化を検討し、施設総量を圧縮しつつ、住民主体の地域拠点を適正配置します。
公民館	施設の耐用年限まで計画的に保全、現配置を維持していくことを基本としますが、学校施設や他の周辺施設への移転、市民センター化など複合化の可能性についても検討します。
体育館	利用実態を十分検証したうえで、適正規模への見直しを行います。学校体育施設の開放や地域との共同利用など地域的バランスに配慮しながら集約化します。
温泉	温泉文化継承のため受益者負担の見直しを行い、市営温泉全体の収支状況の改善を図ります。新たな公民連携手法の導入（民営化）も視野に、多様な管理形態への移行を検討します。
市営住宅	公営住宅等長寿命化計画により、人口動態に合わせて市営住宅の管理戸数を縮減します。住宅建替え時は集約化・再配置、目標管理戸数の範囲内で民間賃貸住宅の活用を検討します。民間活力導入により余剰地を積極的に有効活用します。
幼稚園	対象園児数の減少見込みに合わせて、適正な規模へ縮減。『別府市学校適正化に向けての答申』に基づき、教育の質の確保や、適正な規模に配慮したうえで、施設の再編を検討します。
小学校／中学校	適正な教育環境を確保しつつ、統廃合などの適正配置を進めます。地域コミュニティの核となる施設を目指し、近隣施設との複合化も考慮した建替え計画を検討します。

【北部地区】

施設用途	施設名称	施設再編の方針
出張所	亀川出張所	消防署亀川出張所建替えと合わせて、移転又は複合化等の方針を決定し、実施に向けて取り組みます。
消防出張所	別府市消防署亀川出張所	老朽化の進行が著しいため建替えを早急に計画します。
公民館	北部地区公民館	耐震化未対応、老朽化及び立地条件の問題からなでしこ分館を廃止し、本館の整備又は移転・複合化の方向性を早急に決定します。
	北部地区公民館なでしこ分館	
美術館	別府市美術館	老朽化等も著しいため抜本的な改修は見送ります。今後の方向性について、図書館及び美術館整備の基本構想のなかで検討します。
高齢者福祉施設	老人憩の家友楽荘	老朽化が進んでおり立地条件も悪いため、できるだけ早い段階で廃止。他施設へ機能移転します。
公設市場	別府市公設地方卸売市場	公設市場のあり方について、様々な運営形態や広域的な視点から市場の活性化と経営力強化を図り、必要な施設整備を行う方策を早急に検討します。

【西部地区】

施設用途	施設名称	施設再編の方針
宿泊施設・キャンプ場	別府市阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場	民間活力の導入により収益性の高い施設として整備を検討します。
市営住宅等	丸尾市民住宅／朝日原住宅	施設老朽化に伴い現居住者が退居後に廃止します。
農林水産業	旧東山小学校	木造校舎は利活用が困難なため解体撤去します。
公園	南立石緑化植物園（みどりの相談所）	事務所機能とともに移転を検討。現建物の存続は、収益性等を持たせた民間活力の導入による有効活用策を検討します。

【朝日・大平山地区】

施設用途	施設名称	施設再編の方針
その他観光	地獄蒸し工房鉄輪	多くの利用者がいる施設として、民間活力による適正な運営形態により、一層の収益率の向上を図ります。

【中部地区】

施設用途	施設名称	施設再編の方針
地域コミュニティ施設等	別府市コミュニティセンター	施設の劣化が著しく進行している部分もあり、民間への売却等も含め今後のあり方を検討します。
	実相寺中央公園集会所	自治会への再譲渡の可能性を検討します。
その他集会	別府市勤労者研修センター	老朽化しているため機能移転、集会室は他施設へ集約化します。
体育館	別府市別府勤労者体育センター	旧耐震基準の建物で老朽化、当初の設置目的が薄れているため、概ね3年を目途に、必要な調整を行ったうえで廃止します。
清掃・環境	別府市リサイクル情報センター	規模を縮小して機能を維持。市民が利用しやすい場所への移転を検討します。
その他施設	別府市シルバー人材センター	老朽化のため代替施設を確保し、機能を移転。移転後の施設は、最適な有効活用策を検討します。

【南部地区】

施設用途	施設名称	施設再編の方針
庁舎	別府市役所	移転又は改修について将来の基本方針を策定。当面は長寿命化の改修を実施し、計画保全による維持を行います。
その他集会	別府市野口ふれあい交流センター	当面存続し、建物の耐用年数経過時に利活用を検討します。
	別府市ふれあい広場・サザンクロス	図書館の施設整備の方向性を踏まえ機能移転を検討します。
	男女共同参画センター「あすべっぷ」	体育館等の機能を縮小し共用施設化を検討します。
図書館	別府市立図書館	図書館及び美術館整備の基本構想を策定したうえで実施に向けて取り組みます。学校図書館との連携や多世代が交流できる機能との複合化等についても検討します。
体育館	市民体育館	旧耐震基準で老朽化が顕著なため、集約化を視野に施設の存廃について今後の方向性を決定します。
宿泊施設・キャンプ場	別府市立少年自然の家「おじか」	県有施設等の活用を検討。老朽化した建物の維持更新は行わず早期に縮小。受益者負担や職員体制の見直し、民間活力の導入もあわせて検討します。
温泉	竹瓦温泉	施設更新計画の具体化を急ぎ、公民連携手法による資金調達手段も検討します。
市営住宅等	浜町住宅／中原住宅／東別府住宅／両郡橋勤労者住宅	施設老朽化に伴い現居住者が退居後に廃止します。
	南部振興開発ビル（ベルハイツ・住宅棟）	高い入居率があり民間活力導入の方向性も検討します。
高等学校	別府商業高等学校	廃校後、市の財政状況を考慮し、最適な跡地の有効活用策を早急に検討します。
その他教育	市民会館別館／旧別府市総合教育センター	耐震化未対応のため解体し、駐車場などに有効活用します。